

- 工業用水道事業会計は、3,700万円の純損失(2年連続の純損失)
- 水道用水供給事業会計は、3億6,700万円の純利益(2年連続の純利益)
- 地域整備事業会計は、1億6,800万円の純利益(10年連続の純利益)



埼玉県営水道マスコット
「ウォーター太郎」

単位:百万円

	収 益	費 用	純利益(△は純損失)
工業用水道事業会計	1,685	1,722	△37
水道用水供給事業会計	42,589	42,222	367
地域整備事業会計	2,572	2,404	168

令和6年度 公営企業会計決算（工業用水道事業）

◎純損失3,700万円(維持管理費が高い水準であることから2年連続の赤字も、修繕費の減で赤字幅は圧縮)

業務概要

地下水採取による地盤沈下の防止と産業基盤の整備を図るため、工業用水を給水。

○給水区域

草加市、八潮市、蕨市及び戸田市の全域並びにさいたま市及び川口市の一部(工業用水法による地下水汲み上げ規制区域)

○給水事業所数 148事業所(前年度 149事業所 △1)

○料金単価 22円53銭 /m³

○給水契約水量 6,664万m³

(前年度 6,684万m³ △0.3%)

○企業債残高 3,500万円(前年度比 △43.2%)

決算概要

単位:百万円

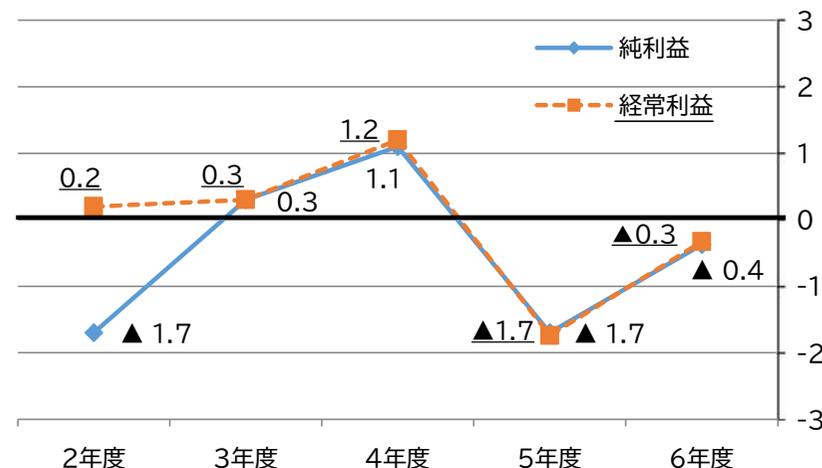
	6年度	5年度	増減額	増減率(%)
事業収益	1,685	1,684	1	0.1
(うち給水収益)	(1,551)	(1,555)	(△4)	(△0.3)
事業費用	1,722	1,854	△132	△7.1
純利益(△は損失)	△37	△170	133	—

うち経常利益(△は損失)	△33	△174	141	—
--------------	-----	------	-----	---

※八潮市道路陥没事故に伴う特別損失は、上記事業費用に計上

- 依然として修繕費や動力費など維持管理費が高い水準であることから、3,700万円の純損失を計上。
- ただし、突発的な漏水事故が続いた令和5年度に比べると修繕費自体は減少しており赤字幅は1億3,300万円圧縮。

純利益及び経常利益の推移(単位:億円)



- 中長期的には、契約水量の減少に伴い給水収益は減少傾向。
- 施設の老朽化や継続的な物価上昇等に伴う維持管理費の増加により、費用は増加傾向。
- 令和2年度が純損失となっているのは、施設の撤去費が一時的に増加したことによるもの。
- 令和7年度に料金改定を実施し、今後収支は改善する見込みではあるが、引き続き事業者のニーズに沿った施設規模の適正化やコスト削減を行うなど、経営改善に努めていく。

令和6年度 公営企業会計決算（水道用水供給事業）

◎純利益3億6,700万円(給水収益は1.5%減少したが、減価償却費や動力費も減少したことにより、黒字を確保)

業務概要

河川表流水(荒川・利根川水系)を水源として、県内5つの浄水場から水道事業者55団体(58市町)へ水道用水を供給。

○実績給水量 6億2,465万m³

(前年度 6億3,419万m³ △1.5%)

○料金単価 61円78銭 /m³

○企業債残高 956億8,500万円(前年度比 △1%)

決算概要

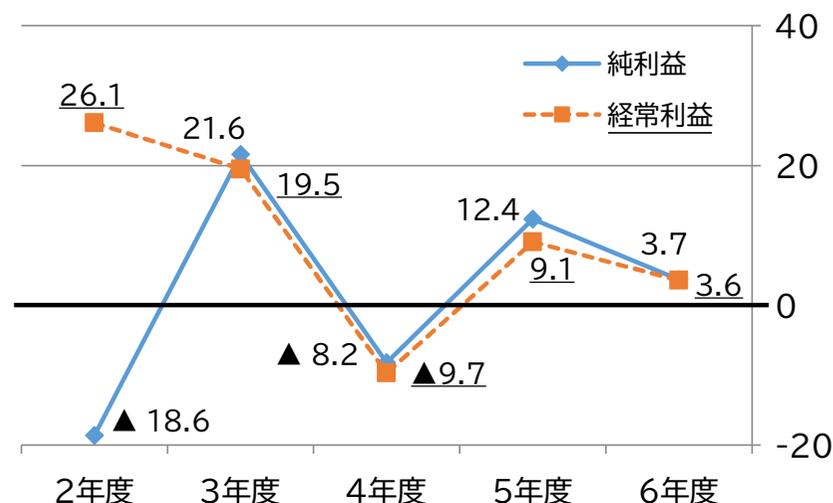
単位:百万円

	6年度	5年度	増減額	増減率(%)
事業収益	42,589	44,183	△1,594	△3.6
(うち給水収益)	(38,587)	(39,181)	(△594)	(△1.5)
事業費用	42,222	42,948	△726	△1.7
純利益	367	1,235	△868	△70.3
うち経常利益	357	907	△550	△60.6

※八潮市道路陥没事故に伴う特別損失は、上記事業費用に計上

- 給水収益は5億9,400万円減少したが、減価償却費や動力費も減少したことにより、純利益を確保した。
- ただし、純利益は対前年度比8億6,800万円減の3億6,700万円となった。

純利益及び経常利益の推移(単位:億円)



- 中長期的には、家庭や事業所等における水利用の合理化に伴い、給水収益は減少傾向。
- 施設の老朽化や継続的な物価上昇等に伴う維持管理費の増加により、費用は増加傾向。
- 令和2年度は霞ヶ浦導水事業撤退に伴う損失、令和4年度は電気料金の高騰による維持管理費の増により純損失となった。
- 一層のコスト縮減を行うなど、経営改善に努めていくとともに、安全・安心で良質な水の供給のため、老朽化対策や高度浄水処理の導入など必要な投資を行っていく。

令和6年度 公営企業会計決算（地域整備事業）

◎純利益1億6,800万円(嵐山花見台地区の産業団地の新規分譲により、10年連続の黒字決算)

業務概要

地域経済の活性化や雇用機会の拡大などを目的に、産業団地等を造成。

○事業実施地区(7地区)

- ①行田富士見地区 ②嵐山花見台地区 ③富士見上南畑地区
④鴻巣箕田地区 ⑤久喜高柳地区 ⑥吉見大和田地区
⑦美里甘粕地区

決算概要

単位:百万円

	6年度	5年度	増減額	増減率(%)
事業収益	2,572	7,534	△4,962	△65.9
(うち分譲収益)	1,810	6,780	△4,970	△73.3
事業費用	2,404	5,929	△3,525	△59.5
純利益	168	1,605	△1,437	△89.6

うち経常利益	168	1,674	△1,506	△90.0
--------	-----	-------	--------	-------

※八潮市道路陥没事故に伴う特別損失は、上記事業費用に計上

○団地別分譲収益

団地名	分譲収益	分譲区画
嵐山花見台	18億1,000万円	3区画

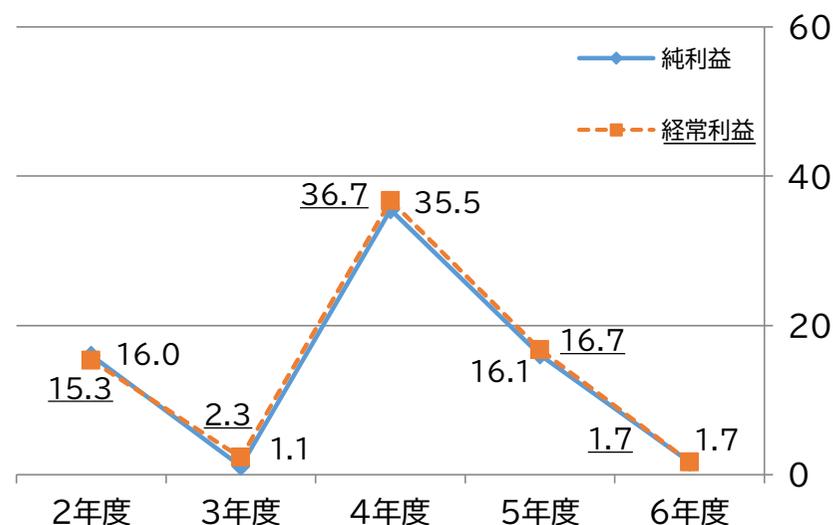
○産業団地貸付収益

3億8,500万円 6団地20社

○ゴルフ場施設貸付収益

吉見、大麻生ゴルフ場 3億1,100万円

純利益及び経常利益の推移(単位:億円)



- 地域の均衡ある発展や雇用の創出を図るための産業団地整備を進めていく。